

第7波における医療機関の現状緊急アンケート概要

第7波による新型コロナ感染者が爆発的に増えるなか、医療機関では外来がパンク状態になっています。今後の国や大阪府への要望に活かすために第7波における大阪府内の医療機関の現状を調査しました。
*アンケート 7/29 約4千の診療所に FAX 送信。回答478件/約4000診療所(8/3現在)

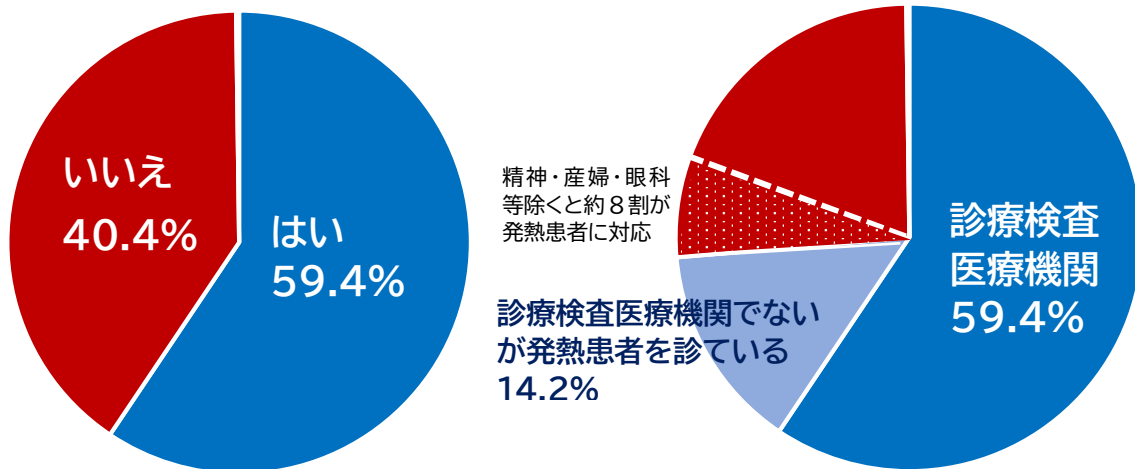
1.診療・検査医療機関ですか 「はい」 284 「いいえ」 193 *NA 1

**「診療・検査医療機関」は6割だが、発熱患者を診ているは7割超
8割の診療所で第7波により「通常診療に影響でている」
「診療・検査医療機関」の7割が「受入キャパシティーを超えている」**

診療検査医療機関ですか

*全科対象

発熱患者への対応



「いいえ」の方⇒「検査実施」 47 「発熱患者診ている」 64 「陽性患者に対応」 33

*診療・検査医療機関でない診療所の3割以上(33.1%)が発熱患者を診ている。また「検査実施」「陽性者に対応」を含めると47.7%(重複回答除く)92件となり、約半数は感染疑い、感染者に対応している。

*診療・検査医療機関は全体の約6割(59.1%)だが、「いいえ」で発熱患者を診ている(陽性患者のみ診ている含む)68件を加えると7割を超える(73.6%)診療所が発熱患者を受け入れている。この傾向は、この間何度も実施しているアンケートと同じような結果になっている。

「いいえ」の理由⇒人員・構造上の問題 129 患者の属性(高齢・透析等) 47 スタッフの理解 26

*診療・検査医療機関でない理由の7割にあたる129件が「人員・構造上の問題」としている。こちらも、この間何度も実施しているアンケートと同じ結果になっている。

2.第7波で通常診療に影響が出ている。「はい」 374 「いいえ」 87

3.医療機関の発熱外来の状況について。

「受入れのキャパシティーを超えている」 218

*診療・検査医療機関⇒198/284(69.7%)

「まだ余裕がある」 48

*診療・検査医療機関⇒39/284

「発熱外来は行っていない」 186

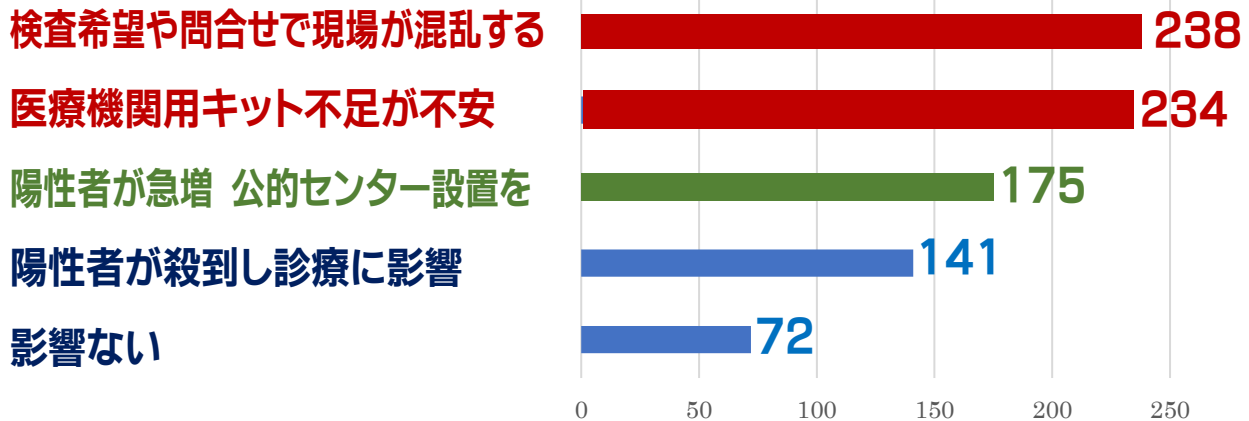
*診療・検査医療機関⇒55/284(かかりつけ患者のみ含む)

4. ワクチン接種をしていますか。「はい」353 「いいえ」71

「はい」「いいえ」以外⇒「集団接種に協力」28 「以前していた」27

- * 「集団接種に協力」を含めると8割が新型コロナワクチン接種に協力している。
- * 「以前していた」方の止めた理由は「人員不足」「スタッフの負担大きい」8、「ワクチン供給不足」4、「予約があまりない」3、「発熱外来に注力」2となっている。

5. 政府は検査キットの無料配布を実施予定ですが診療への影響等は。



* 意見など（一部抜粋）

- ・きちんと協議してからマスコミ発表して欲しい。
- ・患者に配布する前に医療機関に配布して欲しい。キットがなくて数日間、毎日患者さんを断って大変だった。
- ・一般の方が、検査の時検体採取をうまくできるとは思えません。疑陰性の人が増えると思います。
- ・陽性でも受診しない方が増え正確な実数が把握できない。自己判断され危険。
- ・無料配布も冷静に対処すればいいけど、周りがやっぱ「受診した方がいい」なんて言うと結局外来パンクが止まらない。キット不足も医療崩壊です。
- ・検査キットで自分で検査して陽性の時はオンライン（または電話）で登録でいいと思う。窓口に発熱して来る、クレームなど少しは減ると思う。

6. 検査について。

・PCR 試薬 *「診療・検査医療機関」284 対象

「足りている」31 「現在足りているが今後不確定」85 「足りない」53

・検査キット *注・スタッフ分含むと思われる回答有り。

「足りている」31 「現在足りているが今後不確定」232 「足りない」78

・現在の体制 *「診療・検査医療機関」284+検査のみ医療機関 47 対象。

「全て受入」60 「受入人数を制限」235 「検査をストップ」21

7. (自治体が)検査・発熱外来センターを設置すれば出務しますか。

「はい」30 「いいえ」247 「検討する」68 「条件が合えば出務」122

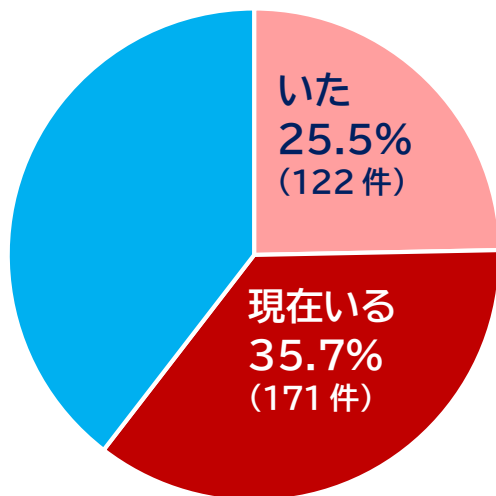
* 診療・検査医療機関「いいえ」の方の場合

「はい」11、「検討」26、「条件…」67 と診療・検査医療機関でない診療所 183 件中 104 件（56.8%）がセンター設置をすれば前向きに検討する姿勢。

8.医療機関のスタッフについて。

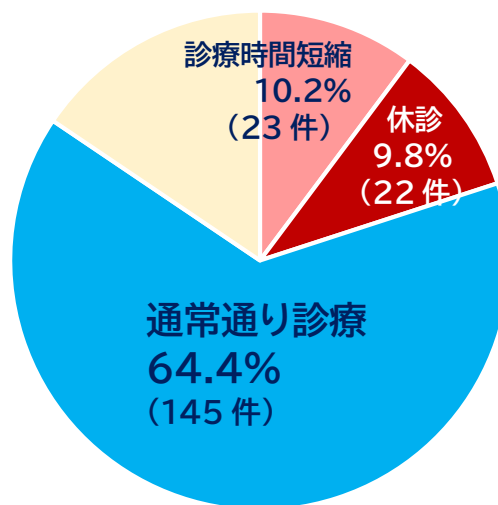
・このひと月で陽性者又は濃厚接触者のため休職中の職員がいますか。

「いた・現在いる」293 件



・医療機関の機能に影響が出ていますか。（「いた」「現在いる」293 件対象）

「影響でた・出ている」225 件



9.国や府に求めたい対策は何ですか。

検査キットの安定供給

288

治療薬の早期承認

225

感染者の受入施設の開設・増設

216

治療薬の確保・増産

188

保健所業務の強化

184

対処療法用の医薬品の確保

180

速やかなワクチン 4 回目接種

159

まん防等の行動規制

104

0 50 100 150 200 250 300 350

* 意見など（一部抜粋）

- ・意見が多かったのは「5 類にして欲しい」（27 件）。
- ・次いで HER-SYS の入力簡素化（7 件）、PPE 供給（4 件）、公的な発熱・検査センター（4 件）、医療従事者への補償（休診など）5 件。
- ・コロナ以外（RS など）の小児入院施設の増設。
- ・ラゲブリオを使用する手続きが煩雑。当院は登録しているが、在庫を置くことができないので、陽性者が出ても役に立たない。
- ・総合病院がコロナ患者の受入れでコロナ以外の患者の受入れができなくなっている。行動規制をするか感染対応レベルの緩和を検討して欲しい。

その他、診療所の実情や困難事例、国・府への意見など （一部抜粋）

■医療現場の実態

- 救急車が来てくれない。何時間も待たされる。
- 電話対応で通常診療に影響が出ている（発熱者とワクチン申し込みが多い）。HER-SYS 入力などは診療後に持ち帰り入力している。
- コロナ以外の疾患で救急対応が見つからない。
- 問合せが多く、通常診療に影響が出ている。発熱患者をできるだけ診ているが、待たせたとクレームが来る。試薬が足りない、人も足りない。
- 大阪府は診療検査医療機関を A 型に変更させようとするが、医師一人では B 型が限界で、かかりつけの患者だけでも連日 20 人程を検査している。
- 重症者は少ないかも知れませんが、末端のクリニックは過去最高の逼迫感を感じます。リスクの低い陽性者は受診控えをと報道されますが、心配や不安は尽きないと思います。正解はわかりませんが、この対応はあまり良いとは思いません。PPE の備蓄も少なくなってきた。薬の供給も滞っており不安しかない。診療検査医療機関ではないですが、発熱患者は断らず全例受け入れています。こういう医療機関もたくさんあると思います。
- 電話が 1 本なのでワクチン予約、発熱外来でパンク状態。1 日 60 本以上かかってくる。ワクチンも第 7 波前は予約が少なかったが、急に予約が入りだしパンク状態。スタッフがよく頑張っていて感謝しかない。
- 先日、救急車をお願いしたら、今出はらっているので 30 分後に電話して下さいと言われた。行動規制して感染者を減らさないとコロナ以外の重症患者が救えなくなります。5 類にならないなら行動規制をするべき。（循環器）
- キャパを超えて受け入れをお断りしないといけない状態が続いている。窓口となる事務職員への暴言で疲弊している。直接来院してくる患者もあり、感染対策に苦慮している。
- 発熱患者を受け入れているが、もう限界。リスクももちろんですが、届出、請求などの事務も多く、問い合わせへの説明も時間がかかる。続けていくのは不可能。きちんとした国などの方針を決め、公的な機関を立ち上げてほしい。
- 通常の外来でも大変で、ワクチン接種も午前診療に引き続いて行っており、スタッフにも大きな負担をかけている。この上、発熱外来や一般診療と同時診療するのは困難極まりない。
- HER-SYS もラゲブリオもワクチンも全て行っている。発熱外来のみ行っていない。一人の医師では限界。もっと国も府も現場を知って欲しい。

- HER-SYS の入力が終わると0時近くまでかかる。軽症者しか診られないが、少しでも診療することで病院の負担が減らせられると思って頑張っているが、実際は検査キットが不足、診療できない日があった。（スタッフ一同の休養にはなったが）。
- 患者が急増して診療時間を増やしたくてもスタッフは扶養範囲内から給与が超過することもできず、困難です。その辺りの特例も検討いただきたい。

■薬、検査、ワクチンなどへの意見

- アセトアミノフェン製剤の安定供給を。
- 一般医療機関におけるコロナ治療薬投与の制限の解除が望まれる。
- ラゲブリオの使用に対する制限の解除を考えてほしい。実施の使用が制限が多く、できない状態です。
- 日本の薬の承認急いで。7波まで何をしていたのか。
- 5類への引き下げには検査キットと治療薬の十分な普及が必要。
- 検査キットが入手できず、検査ができない。
- 濃厚接触者を早く外出するために検査をしろというが、そうするとすぐにキットがなくなる。
- 抗原検査で（+）の人にPCRの再検を求めないよう、企業や施設に指導してください。抗原（+）で症状があればコロナ感染者です。
- 検査キットで自分で検査して陽性の時はオンライン（または電話）で登録でいいと思う。窓口に発熱してくる、クレームなど少しは減ると思う。
- 新しい治療薬、ワクチンが出たときの承認が遅い（アメリカは早い）。これは現行の審査過程に問題があると思う。
- 7波は必ず来るとわかっていたのに、医療従事者（高齢者施設の従事者も）の4回目ワクチンをなぜ認めなかったのか理由がわからない。全て後手後手なのであわてて準備しなければならなくなり迷惑である。PCR検査の試薬が乏しく成っているので安定供給をお願いしたい。
- ファイザー製ワクチンの供給量が少ない。供給されるタイミングも遅く、早期に接種と言っても希望者にまだまだ打てていない状況であり、早急に対応して欲しい。
- ファイザー製ワクチンが8月中旬以降、供給不足になるという。接種に力をいれていても不可能に。今更モデルナも…（15人単位も保存困難）。

- ・ファイザー製ワクチンの供給上限を緩くしてほしい。患者からのクレームがひどい。

■公的なセンターなどの設置を求める意見

- ・自治体ごとに検査・発熱外来センターを設置すべき
- ・ワクチン業務も重なり大変な状況。かかりつけ医でなく、集団接種会場を中心にして欲しい。
- ・透析患者陽性者の入院施設の開設をお願いしたい。
- ・民間の医療機関の“ボランティア”に頼るのは無理。自治体ごとに公的な検査センターを設けるべき。
- ・通常診療とは別、発熱センターを設置し、そこにマンパワーを投入し、コロナ診療をするべき。動線の分離、トイレの問題ありテナント診療所では発熱患者を診察するのは困難である。
- ・若年者の予約なしでのワクチン接種場所の設置（主要ターミナル、イベント会場、大型商業施設など）。国産治療薬ゾコーバの早期承認。

■その他の意見

- ・コロナの陽性のため、妊婦健診ができない、妊婦の受け入れ先がない、中絶手術の延期（12週を過ぎると手術ができなくなる）、乳児への対応ができない。
- ・第6波で困った問題が第7波でも起こっている。国の準備不足が問題。
- ・行動規制をもっと出して欲しい。
- ・経済のため、with コロナのため、行動制限なしには必要なのかもしれませんが、そのツケを医療にまわす今の体制は無理がある。
- ・発熱外来実施機関の条件を緩和していただければ、もっと協力できる医療機関が増えます。
- ・濃厚接触者の待機期間を短縮するなどしていますが、この行政のやり方は逆方向だと思う。こういうことをするから感染者が増え医療機関でも働き手が少なくなって、結局、社会が回っていないではないですか。高齢者だけの行動制限はナンセンス。人権問題。
- ・保健所の数を激減させた政治家に責任を取って欲しい。今の保健所の人数不足で保健所職員の過労死が心配。

お問合せ 大阪府保険医協会 電話 06-6568-7721(田川・坂元) *5日当日は090-5662-2944まで